



水稻編



病害虫注意報 2020年9月号

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

刈り取り後の除草

刈り取り跡に雑草が生えている田んぼは、今しっかり防除を行うことで次作が楽になります！



薬剤名	特徴	使用方法	おすすめ
<p>次作までに時間がある場合</p> <h2>ケレートS</h2> 	<ul style="list-style-type: none"> 適用： <ul style="list-style-type: none"> 一年生雑草 多年生イネ科雑草 稲わらの上からでも効く 水が溜まっている所では効果半減 次作植付まで3カ月程度期間をあける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 禾ダカ 30～40kg(6～8袋)/10a ● 一年生雑草 多年生イネ科雑草 20～25kg(4～5袋)/10a 水稻刈取後全面土壌散布(秋期雑草生育期) ※回数制限なし 	<ul style="list-style-type: none"> ● 禾ダカ防除には刈取後すぐの散布が効果的！ ● 散布は年内に ● 降雨時(降雨が予想される時)は散布しない(効果の減弱、河川への流出を防ぐ)
<p>次作までに時間がない場合</p> <h2>ラウンドアップ[®] マックスロード</h2> 	<ul style="list-style-type: none"> 適用： <ul style="list-style-type: none"> 一年生雑草 多年生雑草 ● ヒ、セ、クワ、禾ダカ、ヤツリグサなど防除困難な雑草に！ ● 土に残らず分解が早い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一年生雑草 200～500ml/10a ● 多年生雑草 500～1000ml/10a (希釈量10aあたり通常50～100ℓ、少量5～50ℓ) 雑草茎葉散布・雑草生育期(水田刈跡/1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑草が緑化している時期に散布 ● 刈取直後 薬剤 500～1000ml、もしくは、3～4月の水田耕起前 薬剤 200～500mlがおすすめ

刈取後のジャンボタニシ(スクミリンゴガイ) 防除

- ① 湛水状態3～4cmを1～4日続ける(水温15℃以上)。
- ② ジャンボタニシが活動を始めたら、粒状ペルカ(石灰窒素) 20～30kg/10aを散布する。
- ③ 3～4日湛水状態で放置してから自然落水する。

※石灰窒素は河川などに流出、飛散しないよう注意して下さい。

1月上旬～2月上旬に耕起すると、貝が潰れることでの物理的な殺菌効果だけでなく、残った貝も寒気に曝されることで死滅します。冬場の耕起は1回だけでなく複数回おこなうと殺菌効果さらにアップします↑↑



稲ワラの腐熟にも有効！ 分解を早め、浮きワラ軽減・ガス害防止に！

粒状ペルカ(石灰窒素)

20kg(1袋)/10a

★刈取後、すき込むことにより、稲わらを土中で堆肥化することが可能！

★堆肥同等の貴重な地力栄養資源として活用できます

新規登録農薬紹介

エミリアフロアブル

ウンカ類・カメムシ類・ツマグロヨコバイ

8倍	無人航空機による散布
250倍	散布【ブームスプレーヤー】
1000倍	散布

- ◆ 新規有効成分「フルピリミン」 → 神経麻痺を引き起こす新規殺虫剤
- ◆ 水稻害虫に対する高い効果
- ◆ ミツバチや有用昆虫への高い安全性



収穫7日前まで/2回以内	0.8L/10a
収穫7日前まで/2回以内	25L/10a
収穫7日前まで/2回以内	60～150L/10a